

久我さんに実験を手伝ってもらい、いくつか面白そうな研究テーマをやってみることになった。初めはなかなか研究の芽が開かなかったが、ある鉄錯体の電気化学測定を行っていたところ、驚くほど大きな電流値が観測された。この結果は鉄錯体が非常に優れた触媒活性を有していることを示唆するもので、このときの私は冷静でありながらも静かな興奮を覚えた。このような感覚は研究者の醍醐味であり、私にとっては一生忘れられない経験となった。

その後、正岡先生と近藤さんと共にディスカッションを重ね、鉄錯体の触媒機能の高さを証明することに奮闘した。その間、分子研の充実した分析機器も活用させて頂き、目的の実験のほとんどは不自由なく行うことができ

た。そして2014年にNatureに投稿する。返ってきた査読のコメントでは、レフェリーやエディターに研究の面白さを認めて頂いた一方で、私達の主張を裏付けるためには実験データが十分ではないと指摘された。そこで追加実験を行い再び投稿したところ、さらにいくつかの実験を要求され、最終的には最初の投稿から1年8カ月にわたる査読・改訂を経て受理されることが決まった。受理されたときは最初の発見から既に5年が経過し、嬉しいというよりも努力がようやく報われたことにほっとする気持ちだった。再三の改訂作業では苦しいときもあったが、正岡先生や近藤さん、共同研究者の方々のチームで粘り強く議論を重ねていく中で、あきらめずに最後までやり遂げることができ

た。

2016年からは名古屋大学理学部の特任助教となり、現在も分子研で特別訪問研究員として正岡先生のもとで研究を続けている。これまでの7年はあつという間だったが、とても実りある時間を過ごすことができた。改めて分子研に来て良かったと感じている。

最後に、現在の自分があるのは、正岡先生、近藤さんをはじめとしてこれまでにお世話になった方々のおかげである。この場を借りて皆様に厚く御礼申し上げたい。

#### 平成29年度9月総合研究大学院大学修了学生及び学位論文名

専攻	氏名	博士論文名	付記する専攻分野	授与年月日
構造分子科学	Tao, Shanshan	Design and Synthesis of Ion-Conducting Covalent Organic Frameworks	理学	H29. 9.28
	Wang, Ping	Design and Synthesis of Covalent Organic Frameworks for Molecular Adsorption and Separation	理学	H29. 9.28
	Zhai, Lipeng	Design and Synthesis of Covalent Organic Frameworks for Carbon Dioxide Capture	理学	H29. 9.28
機能分子科学	Yan, Gengwei	Characterization of the dynamic structures and interactions of Lewis X-carrying oligosaccharides and their clusters	理学	H29. 9.28

#### 総合研究大学院大学平成29年度(9月入学)新入生紹介

専攻	氏名	所属	研究テーマ
構造分子科学	NAWAZ, Haq	物質分子科学研究領域	Enhancement of Hydride Ion Conductivity for the Development of Novel Electrochemical Reactions
機能分子科学	SALAH, Ahmed Adel Ezat Mohamed	協奏分子システム研究センター	Biophysical analyses of circadian clock mutants in cyanobacteria
	VISOOTSAT, Akasit	岡崎統合バイオサイエンスセンター	Functional and Structural analysis of molecular motor protein including Single molecule imaging analysis of that molecular motor protein